

清掃センター延命化工事が竣工しました

延命化工事が、平成30年3月に竣工しました。工事の完成に伴い、平成45年3月末まで、継続的で安定したごみ処理が可能に。

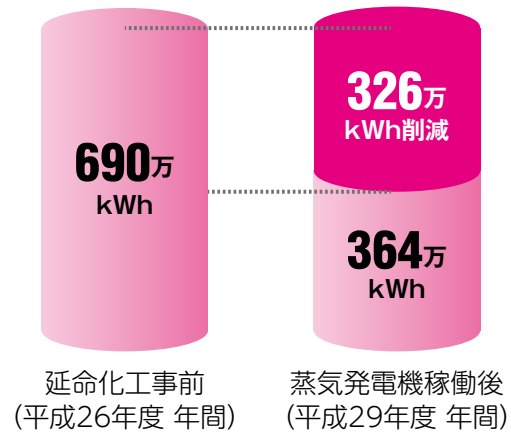
また、これまでの九条公園温水プールへの蒸気供給に加えて、焼却の余熱を利用した、蒸気発電機の設置や、省エネ機器への更新で、電力コストや排出二酸化炭素を、大幅に削減できました。

工事の概要

工事期間：平成27年4月～平成30年3月 工事費：55億800万円（うち国からの交付金約17億円）



蒸気発電機を導入



【削減成果】

電気使用量：326万 kWh減 排出二酸化炭素：1,607t減（スギ17万本分の森林吸収量）

清掃センターに長期包括責任委託導入

平成30年4月から、清掃センターと最終処分場の施設運営管理業務のすべてについて、15年間にわたり包括的に専門の民間会社に委託する、長期包括責任委託事業をスタートさせました。

民間のノウハウを活用することにより、運営業務全般の質を向上させることができ、ごみ焼却施設の継続的で安定した稼働が可能となります。運転経費と維持補修経費の最適化や事業者選定に競争入札を導入したことにより、大きなコスト削減効果をもたらしました。

【長期包括責任委託導入による15年間の削減効果】 (金額は現在価値換算前)

